

平成 23 年度全日本選抜少年柔道大会要項

1. 目的 柔道の正しい技術を身に付け、競技力の向上を図ると共に、明るく、正しく、そして、逞しい少年の健全育成を目的とする。
2. 主催 財団法人全日本柔道連盟
3. 主管 財団法人東京都柔道連盟
4. 後援 財団法人講道館、東京都教育委員会、財団法人東京都体育協会、東洋水産株式会社、ベースボール・マガジン社「近代柔道」
5. 協賛 財団法人東京スポーツ新聞格技振興財団
6. 日時 9月19日(月/祝日) 開会式 9:30(開場 8:30) / 終了 17:00(予定)
7. 会場 東京武道館 大武道場〔東京都足立区綾瀬 3-20-1 Tel 03-5697-2111〕
8. 日程

項目	場所	時間
審判会議	第1 武道場	8:30～9:00
監督会議	2階大研修室	9:05～9:15
開会式	大道場	9:30～9:50
試合	大道場	10:00～15:30
閉会式	大道場	15:40～16:00

9. 参加資格 (1) 出場チームは、マルちゃん杯地区大会(以下、地区大会という)の選考によるチームとし、地区別の出場チーム数は次の通りとする。

地区名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州	合計
小学生の部	4	4	8	4	4	4	4	32
中学生男子の部	6	6	12	6	6	6	6	48
中学生女子の部	2	2	4	2	2	2	2	16

- (2) 出場するチームは、今年度の全日本柔道連盟登録をしている団体(学校、柔道場、クラブ、スポーツ少年団等)であり、チーム編成は小学生の部、中学生男子の部は監督1名、選手5名の計6名、中学生女子の部は監督1名、選手3名の計4名とする。(各部とも補欠はなし)
- (3) チームの構成は、地区大会と同一メンバーとする。負傷等により選手を変更する場合も、地区大会の登録選手の中から補充すること。
- (4) 選手は、出場するチームを通して競技者登録をしていること。また、監督は指導者登録をしている者とし、複数のチームの監督を兼任する事は認めない。
- (5) 選手本人の出場意思を確認し健康に十分な配慮を行い、出場に関して保護者並びに学校の承諾を得ること。
※保護者または監督が承諾欄に捺印の上、提出すること。
- (6) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

10. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国際柔道連盟試合審判規定「少年大会申し合わせ事項」で行なう。
(2) 試合時間は各部共3分間とする。
(3) 「優勢勝ち」の判定基準は、「有効」又は「指導2」以上とし、得点差がない場合は「引き分け」とする。

11. 試合方法 (1) 試合方法は、各部ごとのトーナメント戦で行う。
(2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
② ①で同等の場合は、「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多い

チームを勝ちとする。

③ ②で同等の場合は、「技あり」または「指導 3」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

④ ③で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。

(3) 代表戦は、通常の 3 分間の試合を行い、得点差が無い場合は僅少差（旗判定）で勝敗を決する。出場する選手は「引き分け」であった対戦の中から 1 試合を抽選で選出する。

(4) 選手のオーダーは、負傷・事故防止のため体重の重い選手から順に大将から配列するものとする。なお、試合中に負傷等で欠員が生じた場合も、大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする

12. 表彰

(1) 優勝から 3 位(2 チーム) までを表彰する

(2) 各部とも、優勝チームから最優秀選手賞（東洋水産賞）を 1 名、2 位、3 位チームから優秀選手賞を 1 名ずつ授与する

(3) 参加選手全員に参加賞を授与する

13. 申込み方法

8 月 17 日（水）必着にて所定の申込み用紙により下記宛に申込むこと

14. 選手変更

申込み後の選手の変更および、体重による配列の変更は、監督会議の開始前までに届け出ること（変更した選手は、体重測定を行う）

15. 組み合わせ抽選

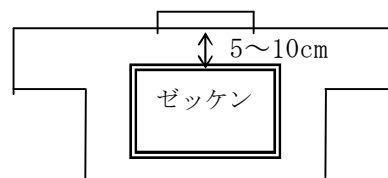
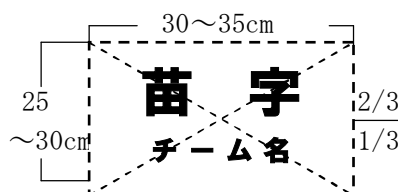
8 月 24 日（水）

16. ゼッケン

柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。付けていない選手は出場出来ない。

図 1 ゼッケンの縫い付け方

図 2 縫い付け位置



①布地は白色の晒太綾、サイズは概ね横 30~35cm・縦 25~30cm とする。

②後ろ襟から 5~10 cm 下部に点線部分を縫い付ける（対角線も縫い付けること）。

③上 2/3 に苗字、下 1/3 にチーム名を太ゴシック（楷書）で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

④チーム内に同じ苗字（姓）の選手がいる場合は、名前の 1 字を記載する。

17. 傷害保険

(1) 主催者は、参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。（参加者は健康保険証を必ず持参すること）

(2) 主催者は、大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

(3) 万一の事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

18. 経費負担

(1) 登録（申し込み）された監督・選手の普通運賃片道分の旅費を主催者が負担する。但し、関東から出場するチームには支給しない。乗車運賃は各道府県庁所在地から東京電環までの中学生は学生割引料金、小学生は子供料金を基準とする

(2) 宿泊費は各チームの負担とする

(3) 主催者が支給する経費は、大会当日の 8:30 から監督会議受付（2 階大研修室前）で支給する（監督は当日、必ず印鑑を持参のこと）

19. 宿泊

(1) 斡旋を希望するチームは、8 月 5 日（金）までに下記宛に申し込むこと

近畿日本ツーリスト 東京イベントコンベンション支店
(TEL03-5217-3821 担当 全日本選抜少年大会係)

(2) 宿舎を各自で手配する場合は宿泊先を事前に大会事務局に連絡すること

【参加申込み及び問合せ先】

財団法人東京都柔道連盟 (TEL03-3818-4246、FAX03-3818-5644)
〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館内